

トップメッセージ

「CSR経営」によって社会課題の解決と企業価値の向上を図り、持続的な成長を実現します。



■ 事業方針

当社は、世の中が必要とするもの、世の中に価値があると認められるものを生み出すことで、社会に貢献し、企業としての価値を高め、長期的な発展と、すべてのステークホルダーの満足をめざすことを経営理念としております。

この経営理念のもと、「再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続け」ること、そして目指すべき利益レベルとして「2020年度に経常利益100億円」を掲げ、事業環境が大きく変動するなかにおいても、安定的に100億円以上を獲得し得る体制を構築することを企業ビジョンとしており、その実現を目指し事業活動を展開しております。また、このビジョンは当社単独ではなく当社グループ全体の力を結集することにより、その成果として実現できるものと考えており、連結決算における収益の最大化と企業価値の増大を経営の基本方針としております。

当社グループは、これまでの成果をベースとして、さらに事業の量と質を高め、「持続的な成長の実現」を目指すものとして、第11次中期経営計画（2015～2017年度）を鋭意推進しております。

■ 事業環境

当社グループの主要事業は、環境意識の高まりから地球温暖化の防止や省資源・省エネルギーへの取り組みが進められているなか、地方自治体向けのごみ処理施設では、老朽化した施設の更新工事や改良工事などの計画があり、またバイオマス発電設備では、再生可能エネルギーによる電力の固定価格買取制度（FIT: Feed-in Tariff）などエネルギー政策の後押しにより、今後とも需要が見込まれております。

また、気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「パリ協定」、国連持続可能な開発サミットにおいて「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」が採択され、持続可能な社会を構築するための目標が示されました。当社の廃棄物処理

技術や廃棄物・バイオマスを利用した高効率発電による二酸化炭素排出削減技術は社会課題の解決に大きく貢献するものであり、当社グループの事業の拡大、発展につながるものと考えます。

■ CSR経営、持続的な成長に向けて

企業は、顧客、取引先、従業員、株主・投資家など、さまざまなステークホルダーと長期的かつ良好な関係を維持しつつ、新たな価値創造の仕組みを構築し続ける必要があります。それにはまず、ステークホルダーから信頼される存在となるような行動を示さなければなりません。経営活動のプロセスに社会的公正性・倫理性、環境や人権への配慮を組み込み、企業活動の基盤となるコーポレートガバナンス、コンプライアンス、リスクマネジメントの推進を図ってまいります。

当社グループは、CSR経営の基盤として、社是、経営理念、タクマグループ会社倫理憲章およびタクマグルー

プ会社行動基準を定め、実践に努めております。健全な企業風土を醸成し、当社グループの役員・従業員の一人ひとりが高いCSR意識を持って事業活動に取り組むことによって、社会課題の解決と企業価値の向上を図り、持続的な成長が実現するものと考えます。

当社は、2006年から国連「グローバル・コンパクト」に参加しており、4分野（人権、労働、環境、腐敗防止）10原則を支持しております。これらの世界共通の理念を理解、尊重しながら、事業を展開してまいります。

最後に、このCSR報告書は、タクマグループの活動を幅広いステークホルダーの皆さまに知っていただくとともに、グループの一人ひとりがCSRについてよく考え、事業とCSRに取り組んでもらうために作成しております。タクマグループの活動が、社会課題の解決、また社会の持続的な発展に貢献できるよう、皆さまからのご意見を真摯に受けとめてまいりますので、忌憚のないご意見、ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。



2017年7月

株式会社タクマ
代表取締役社長

加藤 隆 昭



タクマグループは、国連グローバル・コンパクト(UNGC)に参加しています。国連グローバル・コンパクトは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。参考:GCNJ(グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン) <http://www.ungcjin.org/>

社は 技術を大切に 人を大切に 地球を大切に

経営理念

世の中が必要とするもの、世の中に価値があると認められるものを生み出すことで、社会に貢献し、企業としての価値を高め、長期的な発展と、すべてのステークホルダーの満足をめざす。

田熊汽罐創業の精神である《汽罐報国》※を今日の言葉に置き換えますと、自らが生み出す財・サービスによって世の中に貢献するということになります。これは現在企業経営の重要課題となっておりますCSR（企業の社会的責任）にも通じる理念ともいえます。タクマならびにタクマグループの経営理念は、この創業の精神にあります。

※汽罐報国 当社の創業者であり、明治・大正期の日本十大発明家でもあった田熊常吉翁が掲げた当社（当時は田熊汽罐製造株式会社）の社是で、「汽罐＝ポイラ」の製造・販売・サービス等の企業活動を通して「報国」すなわち社会に貢献することを意味します。

タクマグループ会社倫理憲章

当社およびタクマグループ会社が企業活動を行っていく上で、すべての役員および社員が、当社およびグループ会社を取り巻く環境と社会的責任を自覚し、関係法令やルールを遵守し社会倫理に即した行動をとることが、当社およびグループ会社の健全な発展に不可欠です。この認識のもと、経営理念の実現をめざす行動規範として本倫理憲章を定め実践します。

1. 「良き企業市民」として、地球環境との共存を図るとともに、積極的な社会貢献に努めます。
2. 法令を遵守し、公正、透明、自由な競争を心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商慣習に則り、誠実に行動します。
3. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切関係を持ちません。
4. 基本的人権を尊重し、差別行為はいたしません。
5. 優れた技術に基づいた高品質な製品、サービスの提供に努め、お客様から高い評価と信頼を獲得します。
6. インバスター・リレーションズ(IR)その他の活動を通じて、株主・投資家への適時かつ公平な企業情報の開示に努めます。
7. 会社の財産・情報の保護に努め、業務以外の不正または不当な目的に使用するような行為はしません。

タクマグループ会社行動基準

社会との調和

1. 地球環境との共存
2. 国際社会との共存
3. 社会貢献活動の実践

法令遵守および健全な経済活動の実践

4. 自由な競争および公正な取引
5. 政治・行政との関係
6. 接待・贈答等に関する方針
7. 反社会的行為への関与の禁止
8. 適切な輸出入取引

基本的人権の尊重

9. 差別行為の禁止
10. 社員の人格・個性・プライバシーの尊重
11. 安全な職場環境

顧客満足の実践

12. 製品・サービスの安全性および信頼性の確保
13. 宣伝・広告等に関する方針

情報の適正な開示

14. 企業情報の発信
15. 財務報告の信頼性確保
16. インサイダー取引の禁止

会社財産・情報の保護

17. 会社財産の管理および適正使用
18. 秘密情報の取り扱い
19. 知的財産権等の保護

タクマグループ第11次中期経営計画の概要

1 事業の方向性

① 第11次中計の位置付け

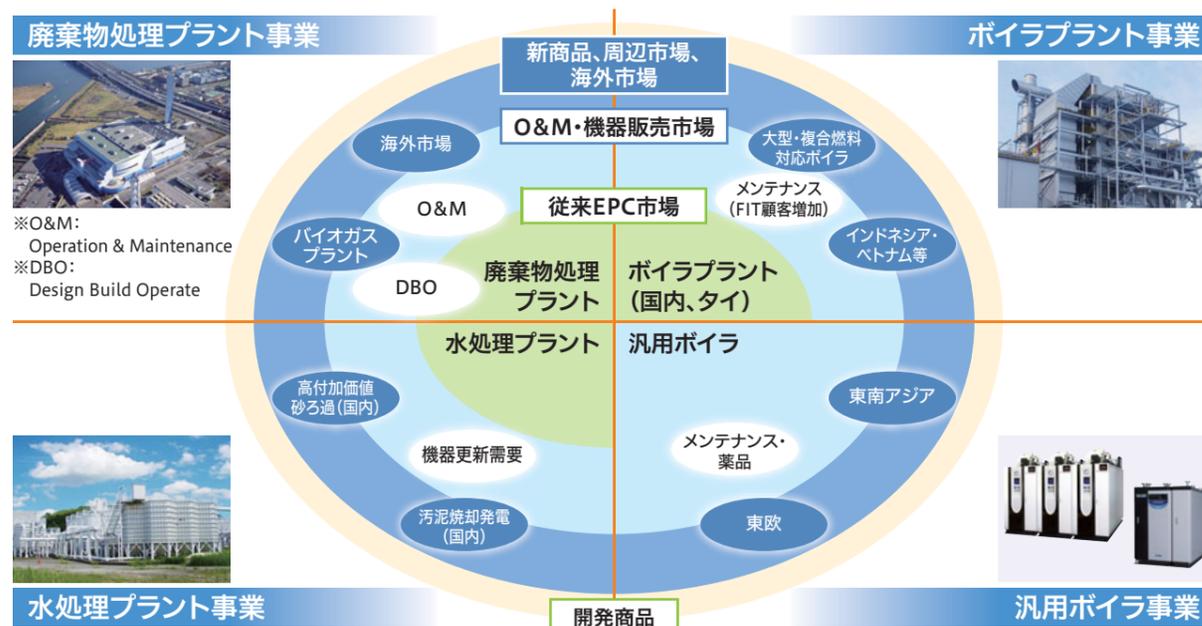
EPC事業での市場ポジションを維持・拡大し、ベース収益事業を土台として、成長市場を取り込み持続的成長を実現する。

※EPC：プラントの設計（Engineering）、調達（Procurement）、建設（Construction）業務



② 主要事業の事業領域

既存のEPC事業を核に、派生する維持管理サービス、競争力のある商品開発、地域を拡充し、事業の量と質を高める。



2 第11次中期経営計画の基本方針とその視点

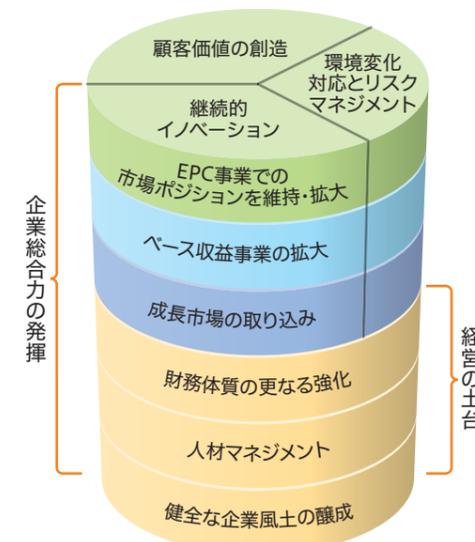
基本方針

- 1 EPC事業での市場ポジションを維持・拡大
- 2 ベース収益事業の拡大
- 3 成長市場の取り込み
- 4 財務体質の更なる強化
- 5 人材マネジメント
- 6 健全な企業風土の醸成

視点

- 1 顧客価値の創造
- 2 継続的イノベーション
- 3 環境変化対応とリスクマネジメント

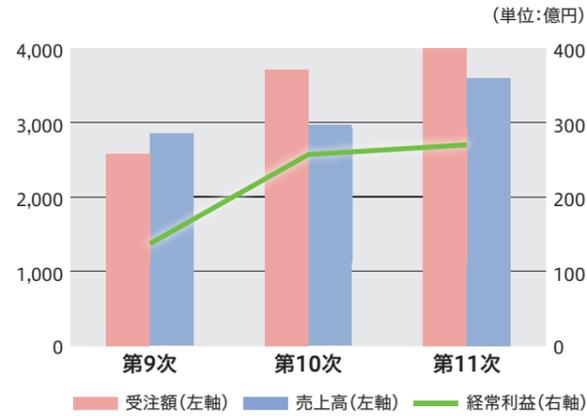
持続的成長の実現



3 数値計画(連結)

タクマグループは企業ビジョンにおいて「再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続け」ること、そして、「目指すべき利益レベルとして「2020年度の経常利益100億円」を掲げ、事業環境が大きく変動するなかにおいても、安定的に100億円以上を獲得し得る体制の構築を目指している。

本中計においては、その達成に向けて、基本方針に基づき持続的成長へ向けた取り組みを推進するとともに、事業の量と質を着実に拡大させていくことを目指し、以下の数値目標を設定する。



(単位: 億円)

	第9次中計 実績				第10次中計 実績				第11次中計 目標値
	2009	2010	2011	合計	2012	2013	2014	合計	2015~2017年度
受注額	705	970	904	2,579	1,092	1,480	1,137	3,710	4,000億円(3カ年累計)
売上高	951	891	1,010	2,853	963	963	1,038	2,965	3,600億円(3カ年累計)
経常利益	20	44	73	137	71	94	91	257	270億円(3カ年累計)

4 主要事業別重点テーマ

一般廃棄物処理プラント事業

事業環境

- 老朽化を背景に引き続き旺盛な更新・延命化需要が存在
- 事業方式としてDBO方式が増加、既設O&Mも増加

重点施策

- 運営基盤の整備・運営力の強化
- 延命化・長寿命化への取り組みの更なる強化

ボイラプラント事業(国内)

事業環境

- バイオマス発電プラントは引き続き一定の需要が存在
- 竣工・引渡しに伴うメンテナンス対象プラントの増加

重点施策

- バイオマス発電プラントの更なる受注獲得(ポジション確保)
- メンテナンス対応の強化

廃棄物処理プラント事業(海外)

事業環境

- 都市化の進展や環境意識の高まりを背景として世界各地で廃棄物発電プラントの計画が進む

重点施策

- 国・地域に応じた参入スキームの策定
- 参入に向けた体制整備

水処理プラント事業

事業環境

- 下水汚泥からのエネルギー回収ニーズの高まり
- 施設の老朽化に伴い更新・延命化需要が増加

重点施策

- 下水汚泥エネルギー化市場における市場ポジションの確保
- 高度処理砂ろ過市場におけるシェア拡大

ボイラプラント事業(海外)

事業環境

- タイならびに周辺国のバイオマス発電プラントの需要は引き続き旺盛

重点施策

- 現地法人(サイアムタクマ)の機能強化を含む、海外プロジェクト遂行機能の維持・強化
- 価格競争力の強化、差別化商品の実現

民生熱エネルギー事業

事業環境

- 国内市場は成熟しており大幅な需要の回復は期待できない
- 海外では新興国を中心にボイラニーズが高まる

重点施策

- 海外事業の拡大
- 技術・生産力の強化

会社案内

会社概要

タクマグループネットワーク

事業概要

会社概要

会社概要

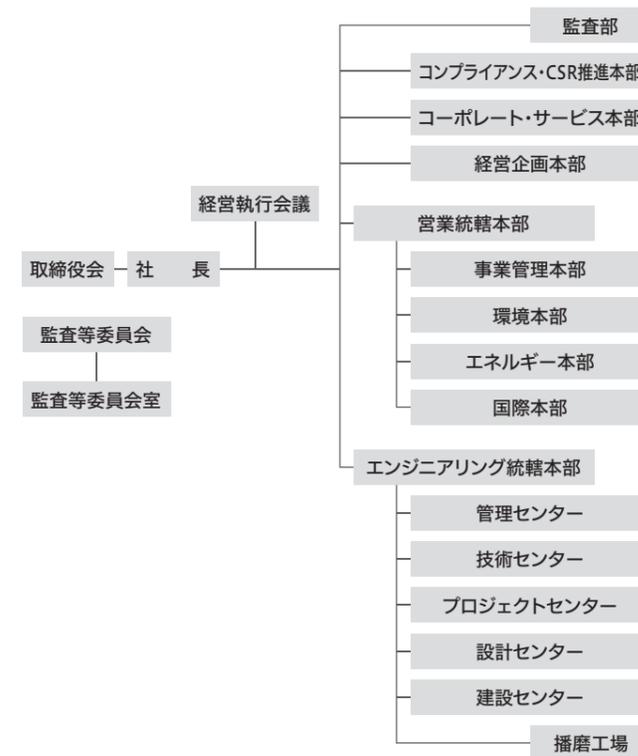
会社の商号 株式会社タクマ
 本社所在地 〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
 Tel 06-6483-2609 Fax 06-6483-2751 (代表)
 代表者 代表取締役社長 加藤 隆昭
 設立 1938年(昭和13年)6月10日
 資本金 133億6,745万7,968円(2017年3月31日現在)
 主要事業 各種ボイラ、機械設備、公害防止プラント、環境設備プラント、冷暖房ならびに給排水衛生設備の設計、施工及び監理、土木建築、その他工事の設計、施工及び監理
 従業員数(単独) 824名(2017年3月31日現在)
 従業員数(連結) 3,447名(2017年3月31日現在)

許認可/登録

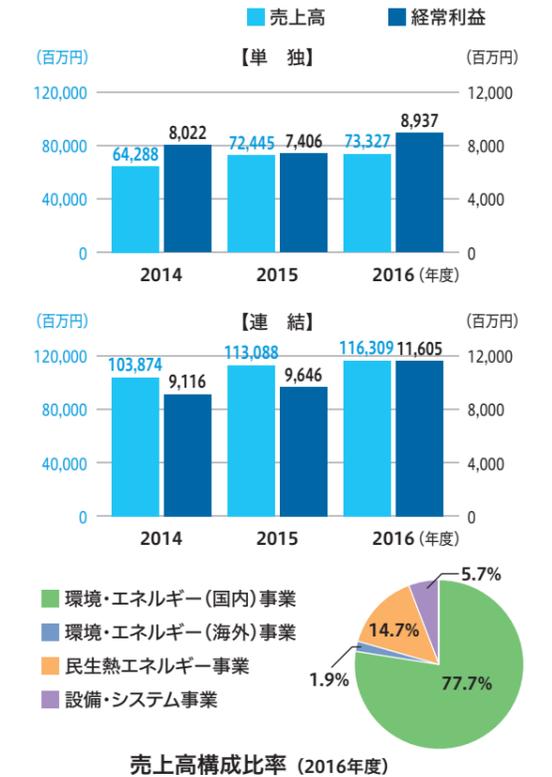
(本社、支社、各支店)
 建設業許可(国土交通大臣許可 特27 第6129号)
 建設コンサルタント登録(国土交通大臣登録 建26 第10202号)
 一級建築士事務所登録(第01A02903号)
 品質マネジメントシステム ISO9001 認証取得
 (播磨工場)
 品質マネジメントシステム ISO9001 認証取得
 環境マネジメントシステム ISO14001 認証取得
 発電用火力設備の製造(経済産業省)
 ボイラ及び圧力容器製造許可、クレーン製造許可(厚生労働省)
 高圧ガス特定設備の製造(経済産業省)
 冷凍器機製造届(兵庫県)



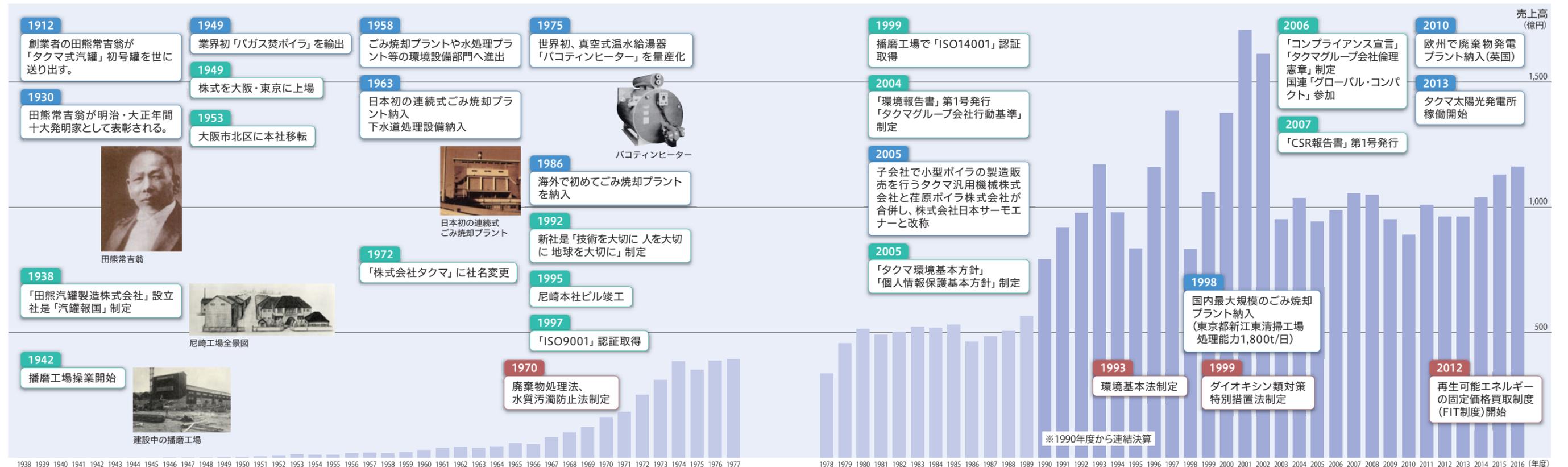
組織図 (2017年6月28日現在)



決算概要/売上高構成比率



タクマの歴史



タクマグループネットワーク

(2017年4月1日現在)



株式会社タクマ 事業所

- 1 本社**
〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
TEL (06) 6483-2609 FAX (06) 6483-2751
<http://www.takuma.co.jp>
- 2 大阪事務所**
〒532-0026 大阪市淀川区塚本2丁目3番20号
(ダイケンビル)
TEL (06) 6100-3301 FAX (06) 6100-3302
- 3 東京支社**
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目1番7号
(野村不動産東日本橋ビル)
TEL (03) 5822-7800 FAX (03) 5822-7888
- 4 北海道支店**
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
(大五ビル)
TEL (011) 221-4106 FAX (011) 241-0523
- 5 東北支店**
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目1番2号
(NMF仙台青葉通りビル)
TEL (022) 222-3042 FAX (022) 225-6759

- 6 中部支店**
〒450-0002 名古屋市千種区名駅3丁目22番8号
(大東海ビル)
TEL (052) 571-5211 FAX (052) 581-3005
- 7 九州支店**
〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目1番1号
(薬院ビジネスガーデン)
TEL (092) 717-2828 FAX (092) 717-2830
- 8 沖縄営業所**
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜1丁目11番12号
(コモンズビル)
TEL (098) 898-6650 FAX (098) 898-6657
- 9 播磨工場**
〒676-8540 兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号
TEL (079) 443-6511 FAX (079) 443-6599
- 10 台北支店**
台湾台北市114-92内湖区基湖路35巷16号7樓A1
TEL +886-02-8752-3838
FAX +886-02-2656-0584

海外グループ会社

- 1 壹田環工股份有限公司 (台湾)**
ごみ処理施設等のメンテナンス業務
台湾台北市114-92内湖区基湖路35巷16号7樓
(7F., No.16, Lane 35, Jihu Rd., Neihu District, Taipei 114-92, Taiwan)
TEL +886-2-2659-7137
FAX +886-2-2656-0584
- 2 Siam Takuma Co., Ltd. (タイ)**
エネルギー関連および環境関連プラントの販売、同プラントの部品販売およびアフターサービス
77/53 Sinn Sathorn Tower, 15th Floor, Krungthongburi Road, Klongtongnai, Klongsarn, Bangkok 10600, Thailand
TEL +66-2-4385616 FAX +66-2-4400114

国内グループ会社

- 1 株式会社日本サーモエナー**
各種ボイラおよび関連機器の製造・販売
〒108-0071 東京都港区白金台3丁目2番10号
(白金台ビル)
TEL (03) 6408-8251 FAX (03) 6408-8278
<http://www.n-thermo.co.jp/>
- 2 株式会社タクマテクノス**
ごみ処理施設、水処理施設等の維持管理運営および各種ボイラ、環境設備等の設計・施工および監理
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番6号
(第10中央ビル)
TEL (03) 3231-2911 FAX (03) 3231-2917
<http://www.takumatechnos.co.jp/>
- 3 株式会社北海道サニタリー・メンテナンス**
下水処理施設等の維持管理運営
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
(大五ビル)
TEL (011) 221-8398 FAX (011) 221-8542
- 4 株式会社タクマテクノス北海道**
ごみ処理施設等の維持管理運営
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
(大五ビル)
TEL (011) 221-4128 FAX (011) 221-1030
- 5 株式会社サンプラント**
空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工および監理
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目1番7号
(野村不動産東日本橋ビル)
TEL (03) 5825-0921 FAX (03) 5825-1631
<http://www.sunplant.co.jp/>
- 6 タクマ・エンジニアリング株式会社**
環境設備プラント、エネルギープラント等の設計
〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
(タクマビル)
TEL (06) 6487-4820 FAX (06) 6487-4829
<http://www.takuma-eng.co.jp/>
- 7 タクマシステムコントロール株式会社**
環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計
〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
(タクマビル)
TEL (06) 6487-4830 FAX (06) 6487-4839
<http://www.takuma-sc.co.jp/>
- 8 株式会社ダン・タクマ**
クリーン機器、洗浄装置、ケミカルフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置、サーマルチャンバ等の製造・販売
〒201-0004 東京都柏江市若戸北3丁目12番16号
TEL (03) 3488-1111 FAX (03) 3488-1118
<http://www.dan-net.com/>
- 9 協立設備株式会社**
ごみ処理施設、下水処理施設機械設備、一般産業用ボイラ設備等の設計・施工および監理
〒002-8081 札幌市北区百合が原5丁目1番38号
TEL (011) 770-2811 FAX (011) 770-2822
- 10 株式会社環境ソルテック**
水質、排気ガス、土壌汚染等環境問題に関連する分析、計量事業
〒676-0008 兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号
(株式会社タクマ 播磨工場 環境・エネルギー研究所内)
TEL (079) 443-6508 FAX (079) 443-6510
<http://www.k-soltech.co.jp/>
- 11 カンボリサイクルプラザ株式会社**
一般廃棄物および産業廃棄物の処理業務
〒622-0032 京都府南丹市園部町高屋西谷1番地
TEL (0771) 68-3636 FAX (0771) 68-3639
<http://www.c-rp.co.jp/>
- 12 長泉ハイトラスト株式会社**
一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営および維持管理
〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町東野374-12
TEL (055) 989-2268 FAX (055) 987-9935
<http://www.nagaizumi-ht.jp/>
- 13 藤沢ハイトラスト株式会社**
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理
〒252-0815 神奈川県藤沢市石川2168番地
(藤沢市北部環境事業所1号炉3階)
TEL (0466) 45-5411 FAX (0466) 45-5454
- 14 いわて県北クリーン株式会社**
一般廃棄物および産業廃棄物の処理業務
〒028-6505 岩手県九戸郡九戸町大字江刺家第20地割48番地34
TEL (0195) 42-4085 FAX (0195) 42-4550
<http://www.iwate2cln.co.jp/>
- 15 ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社**
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理
〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町103番地2
TEL (029) 265-5371 FAX (029) 265-5372
<http://hitachinaka-tokai-ht.com/>
- 16 阿南ハイトラスト株式会社**
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理
〒779-1631 徳島県阿南市橋町小勝1番地5
TEL (0884) 49-5823 FAX (0884) 49-5824
<http://www.ecopark-anan.com/>
- 17 株式会社タクマエナジー**
電力小売事業
〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
(タクマビル)
TEL (06) 6487-4870 FAX (06) 6483-2794
- 18 くるめハイトラスト株式会社**
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理
〒839-0805 福岡県久留米市宮ノ陣町八丁島2225番地
TEL (0942) 27-7490 FAX (0942) 27-7491
<http://www.kurume-ht.com/>
- 19 ぼくたんハイトラスト株式会社**
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理
〒669-6331 兵庫県豊岡市竹野町坊岡943番地
TEL (0796) 21-9111 FAX (0796) 21-9112
<http://www.hokutan-ht.com/>
- 20 諏訪湖ハイトラスト株式会社**
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理
〒394-0055 長野県岡谷市宇内山4769番14
TEL (0266) 78-1590 FAX (0266) 78-1591
<http://www.suwako-ht.jp/>
- 21 エナジーメイト株式会社**
コージェネシステムおよび同発電設備に関するシステム販売ならびに民生用オンサイト型エネルギーシステムの一括サービス業
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号 (御堂筋ダイワビル12階)
TEL (06) 6241-6200 FAX (06) 6241-6210
<http://www.energy-mate.co.jp/>
- 22 田熊プラントサービス株式会社**
各種ボイラ、環境設備等のメンテナンス業務
〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番27号
TEL (06) 6488-8434 FAX (06) 6488-0300
<http://www.takuma-ps.com/index.html>
- 23 株式会社バイオパワー勝田**
木質バイオマス発電事業
〒312-0002 茨城県ひたちなか市高野1974番地1
TEL (029) 270-3341 FAX (029) 270-3343
- 24 かしはらハイトラスト株式会社**
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理
〒634-0826 奈良県橿原市川西町1038番地の2
TEL (0744) 26-6227 FAX (0744) 26-6228
- 25 栃木ハイトラスト株式会社**
産業廃棄物の処理業務
〒321-4367 栃木県真岡市鬼怒ヶ丘18-3
TEL (0285) 83-3966 FAX (0285) 83-6500
<http://www.t-hitrust.co.jp/>
- 26 株式会社カツタ**
一般廃棄物および産業廃棄物の処理業務
〒312-0002 茨城県ひたちなか市高野1968番地2
TEL (029) 270-3711 FAX (029) 270-3712
<http://www.eco-katsuta.com/>
- 27 株式会社アールビー・エヌ**
廃家電・廃OA等の一般廃棄物および産業廃棄物の処理業務
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島3059番地の20
TEL (079) 243-1200 FAX (079) 243-1202
- 28 株式会社市原ニューエナジー**
一般廃棄物および産業廃棄物の処理業務
〒290-0549 千葉県原市万田野733番地
TEL (0436) 50-8300 FAX (0436) 50-8400
<http://www.ichihara-new.com/>
- 29 株式会社エコス米沢**
産業廃棄物の最終処分業務
〒992-0077 山形県米沢市大字築沢7028番地の1
TEL (0238) 39-4050 FAX (0238) 39-4051
<http://www.ecos-y.co.jp/>

タクマグループ
ネットワーク

事業概要

環境・エネルギー事業

一般廃棄物処理プラント

地域社会のニーズに応える高度なごみ処理技術で、循環型社会の実現をサポートします。

- ごみ焼却プラント
- 熱分解ガス化溶融プラント
- 資源化回収プラント
- 粗大ごみ破碎プラント
- 焼却灰・飛灰溶融プラント
- ごみ固形燃料化プラント
- 中継・中間処理プラント
- 原燃料(バイオガス)回収プラント
- 各種公害防止装置



ごみ焼却プラント



粗大ごみ破碎プラント

エネルギープラント

バイオマスボイラをはじめとする各種ボイラからトータルシステムまで、タクマのコア技術がここにあります。

- バイオマスボイラ
- 化石燃料ボイラ
- 廃熱ボイラ
- 発電プラント



バイオマス発電ボイラ



廃熱ボイラ

民生熱エネルギー事業

汎用ボイラ

タクマの燃焼技術の結晶として、広く産業界に支持を得ている信頼のブランドです。

- 貫流ボイラ(エコス、スーパーエコス)
- 真空式温水機(バコティンヒーター)
- パッケージ型水管ボイラ
- 炉筒煙管式ボイラ(REボイラ)
- 熱媒体油ボイラ(サーモヒーター)
- 輻射暖房設備(ストリップヒーター)
- 各種船舶機器

※これらの製品は、グループ会社である株式会社日本サーモエナーの取扱商品です。



バコティンヒーター

サーモヒーター

スーパーエコス

REボイラ

産業廃棄物処理プラント

高度な焼却技術で有害な物質も適正に処理し、産業界の環境保全活動を支援しています。

- 産業廃棄物処理プラント



産業廃棄物処理プラント



産業廃棄物発電と農園への熱供給プラント

水処理プラント

「水との対話」を通して、汚れた水の清浄化にトータルな視点で取り組んでいます。

- 下水・排水処理プラント
- 各種下水高度処理プラント
- 汚泥処理プラント
- 下水汚泥焼却発電プラント
- 最終処分場浸出水処理プラント



上向流移床型ろ過器



下水汚泥焼却発電プラント

設備・システム事業

空調設備・クリーンシステム

半導体産業をはじめ、大学・研究所・病院など多くの場所に快適でクリーンな環境を提供しています。

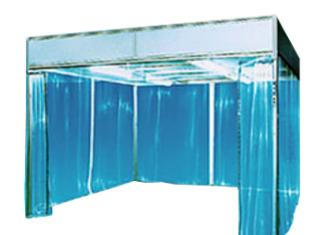
- 建築設備
- 空調設備
- 洗浄・乾燥設備
- クリーンルーム
- クリーン機器
- ケミカルフィルター



ケミカルフィルター



クリーンオープン



クリーンブース

プラントができるまで

当社の中核事業であるプラント事業の流れについてご紹介します。

1 営業活動

お客様とコミュニケーションをはかり、当社のPR活動を行うとともに、新規プラントの建設計画の情報をいち早くキャッチするのが営業の使命になります。その後、社内の計画設計部署や見積積算部署と連携し、お客様の満足する提案を目指します。

2 計画設計

お客様のニーズを満たすプラントの基本計画を立案します。自治体がお客様の場合は、提示される発注仕様書に沿ってプラントの基本計画を立案します。発注仕様書には、処理したいごみの量や性状、敷地条件やごみ発電の発電量など自治体が要求する条件や性能が明示されています。技術担当はその条件・性能を満たすため、焼却炉や廃熱ボイラといった機器や装置の仕様を決定し、その配置を決めます。

3 積算見積

基本計画案に基づき、プラントに設置されるすべての機器や装置、完成までに要するコストを積算し、お客様に提示する見積額を決定します。

受注

営業・計画設計・積算見積の担当が連携し練り上げた計画案をお客様にご提案します。自治体がお客様の場合には入札となります。競合他社と競い、お客様が当社の提案内容に満足していただけたら受注となります。

4 実施・詳細設計

受注後は実際にプラントを建設していくための細かな設計に移ります。計画設計をベースに各種機器の仕様や配置を細かく検討し決定していきます。この段階では、燃焼技術や排ガス処理、電気制御システムなど、それぞれの分野のスペシャリスト達が協力して詳細な設計をします。

5 製造・調達

仕様の決まった機器や装置を、厳しい品質管理のもと当社の工場で製造したり、それぞれ専門の機器メーカーに発注したりします。

6 建設工事・試運転

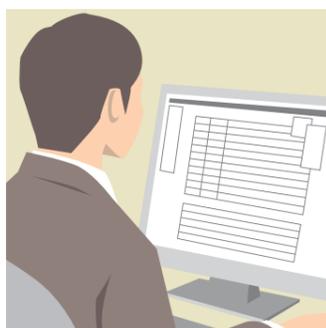
土木基礎工事からプラントの建屋の建設、機器や装置の据付けまで行い、実際にプラントを稼働させるまで施工管理します。いかに現場を効率的に動かし、工程・コスト管理を徹底するか、また、現場の安全管理や品質管理も非常に重要です。

引渡し

建設されたプラントが実際に、安全に稼働するかテストをします。性能が確認されたのち、お客様に引き渡されます。

7 アフターサービス

お客様にプラントが引き渡された後も、トラブルを未然に防止し、プラントを長く安全に稼働させるために定期的な点検やメンテナンスを行います。法定点検の必要な装置の点検・補修に加え、経年変化によって生じた劣化や損傷を点検・補修します。また、法改正やお客様のニーズにより大幅な改修工事をすることもあります。



CSR報告書2017

特集：地域との共生を目指して

事業展開

CSRの取り組み

- 将来に向けたCSR活動
- 企業統治
- 人権・労働慣行
- 環境
- 公正な事業慣行
- 消費者課題
- コミュニティへの参画
- 社会貢献活動

財務データ